

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 1 区分

【発行日】平成 27 年 9 月 3 日 (2015.9.3)

【公開番号】特開 2014-235135 (P2014-235135A)

【公開日】平成 26 年 12 月 15 日 (2014.12.15)

【年通号数】公開・登録公報 2014-069

【出願番号】特願 2013-118298 (P2013-118298)

【国際特許分類】

G 0 1 L 1/16 (2006.01)

H 0 1 L 41/113 (2006.01)

H 0 1 L 41/047 (2006.01)

H 0 1 L 41/29 (2013.01)

H 0 1 L 41/193 (2006.01)

【F I】

G 0 1 L 1/16 B

H 0 1 L 41/113

H 0 1 L 41/047

H 0 1 L 41/29

H 0 1 L 41/193

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 7 月 15 日 (2015.7.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

圧電層と、前記圧電層の第 1 主面側に積層される第 1 電極と、前記圧電層の第 2 主面側に積層され前記圧電層を介して前記第 1 電極と重なる第 2 電極と、前記第 1 電極と接続される第 1 検出部と、前記第 2 電極と接続される第 2 検出部とを備える圧力検出装置であって、

前記第 1 電極は、

2 つの辺が組み合わされた L 字型の L 型基準電極と前記 L 型基準電極の前記 2 つの辺から内側に間隔をあけて複数配置され前記 L 型基準電極の端辺の延長線上に端辺を有する L 字型の L 型電極とが一の方向に配置されたパターン電極を備え、

前記第 2 電極は、

前記パターン電極を覆う帯状電極を備え、

前記第 1 検出部は、

前記パターン電極の L 型基準電極と接続される L 型基準電極検出部と、

前記パターン電極の L 型電極と接続される L 型電極検出部とを備え、

前記第 2 検出部は、

前記帯状電極と接続される帯状電極検出部を備える圧力検出装置。

【請求項 2】

前記第 1 電極と前記第 2 電極の間に基準電極が設けられた請求項 1 の圧力検出装置。

【請求項 3】

前記圧電層が活性圧電部と不活性圧電部とからなり、前記第 1 電極と前記第 2 電極が前記活性圧電部の上に配置されている請求項 1 又は請求項 2 のいずれかの圧力検出装置。

【請求項 4】

請求項 1 ~ 3 のいずれかの圧力検出装置とタッチパネルを備える電子機器。

【請求項 5】

前記タッチパネルが静電容量型の請求項 4の電子機器。